



コロナ禍でも活動を工夫して継続しています

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で様々な行事が中止・延期となっており、支援活動も縮小されています。そのような中でも、たくさんの地域の方に、朝のあいさつ運動、登下校の見守りや授業・行事などの学校支援ボランティア活動でお世話になっています。

1・2年生は「生活科」の学習で、地域の方に教わり、さつま芋の苗を植えました。3年生は、学校近くの水路でホタルの飛び交うきれいな環境を守っておられる地域の方から、講演をしていただきました。学校ではゲンジボタルの幼虫を育てており、11月に放流します。来年の夏に光を放つのが楽しみです。

5年生は「総合的な学習の時間」に、田植えの日程に合わせて地域の方々に種まきから苗作りをしていただき、6月にボランティアの指導で田植えを行いました。今後は稲の成長を観察し、雑草を抜き、秋には稲刈り・脱穀を行います。年明けにはボランティアを招いて、餅つき感謝祭ができればと願っています。

今、岸本小学校では5・6年生の「家庭科」でミシンの指導をしていただける方、本の読み聞かせをしていただける方、他にも得意な分野で支援等をしていただける方を募集しています。気楽な気持ちでご協力ください。支援していただける方は、岸本小学校までご連絡をお願いします。



4月、遠足の見守りをさせていただきました



5年生は一緒に田植えをしました

問い合わせ先 岸本小学校 TEL 0859-68-2019



日光集落支援員活動レポート

西部地区に8月、「新型コロナ警報」が発令され、鳥取県内全域がデルタ株感染嚴重警戒区域になるなど、活動しにくい時期が続きましたが、水稻は猛暑の夏を乗り越えて、実りの秋を迎えました。暑い中、イノシシ対策や草刈り等、お疲れ様でした。

感染予防をしっかりと行って集落へ伺いますので、困りごとや気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。

遠藤 俊寛



イノシシ被害



たわわに実った稲